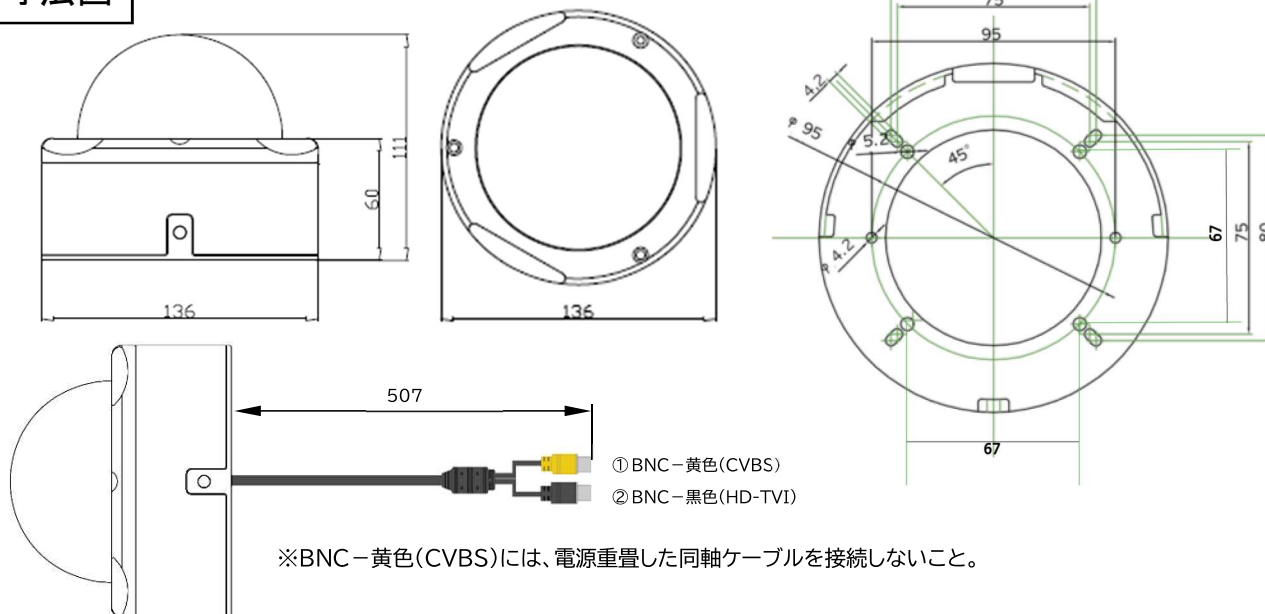


# アナログフル HD 屋外対応ドームカメラ施工基準書(第 1.5 版)

機種名 TC-D4221WRXP、TC-D4222WRX、TC-D4223WRXP

表記なき単位=mm

## 寸法図



## 規格

質量

約 0.9kg

## 外壁施工例 1

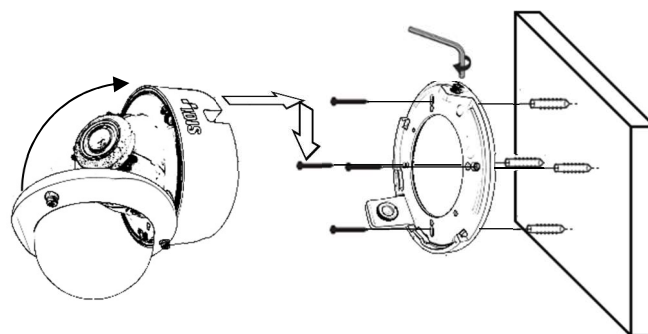
### 使用部材

取付方法	設置用アンカー(付属)	推奨 コンクリートビス(付属していません)
取付ねじ	固定ねじ(付属)、設置用アンカー(付属)	コンクリートビス(M5X45 以上、ステンレス製)
使用数	4 本	4 本

### 施工手順

#### 1. 設置用アンカー(付属)を使用して取り付ける場合

- 1) ガイドパターン(付属)を使用し、設置面に直径約 6 mm の穴を 4 箇所あけ、設置用アンカー(付属)を挿入する。
- 2) 必要に応じて、ケーブル通線孔(直径 25 mm 程度)をあける。
- 3) 固定ねじ(付属)を使い、接地面にボトムカバーを固定する。
- 4) 必要に応じて、ケーブルをボトムカバーのパイプ穴に通す。
- 5) ボトムカバーにカメラ本体をスライドさせて取り付け、Lレンチ(付属)を使いボトムカバー側面にある六角穴付ボルトを締め固定する。
- 6) Lレンチ(付属)を使い、ドームカバーを外し、画角を決める。
- 7) Lレンチ(付属)を使い、ドームカバーを取り付ける。



#### 2. コンクリートビス(M5X45 以上、ステンレス製)を使用して取り付ける場合

- 1) ガイドパターン(付属)を使用し、設置面にコンクリートビスに対応した下穴を 4 箇所あける。
- 2) 必要に応じて、ケーブル通線孔(直径 25 mm 程度)をあける。
- 3) コンクリートビス(M5X45 以上、ステンレス製)を使い、接地面にボトムカバーを固定する。
- 4) 必要に応じて、ケーブルをボトムカバーのパイプ穴に通す。
- 5) ボトムカバーにカメラ本体をスライドさせて取り付け、Lレンチ(付属)を使いボトムカバー側面にある六角穴付ボルトを締め固定する。
- 6) Lレンチ(付属)を使い、ドームカバーを外し、画角を決める。
- 7) Lレンチ(付属)を使い、ドームカバーを取り付ける。

# アナログフル HD 屋外対応ドームカメラ施工基準書(第 1.5 版)

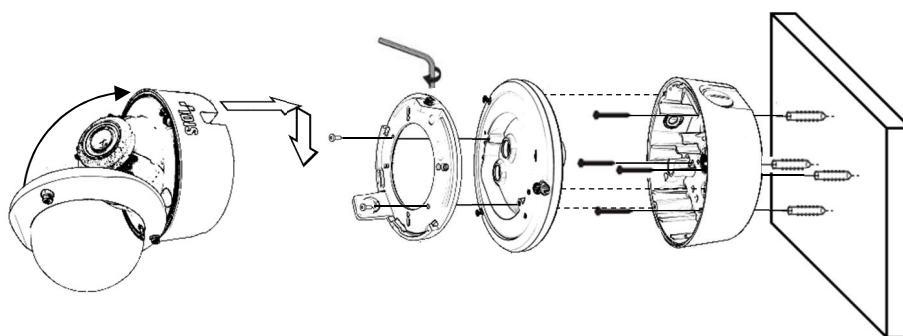
## 外壁施工例 2

### 使用部材

取付方法	ジャンクションボックス(別売)
使用数	1 個

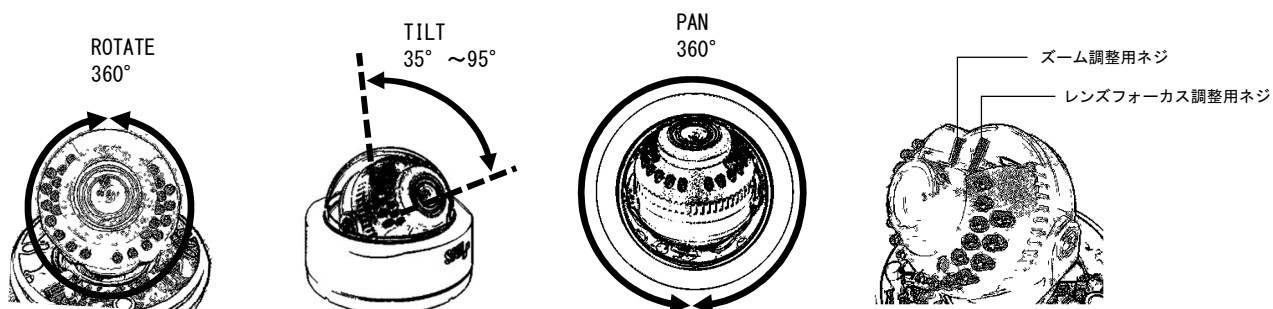
### 施工手順

- 1)ガイドパターン(付属)を使用し、設置面に直径約 6 mmの穴を 4 箇所あけ、設置用アンカー(付属)を挿入する。
- 2)必要に応じて、ケーブル通線孔(直径 25 mm程度)をあける。
- 3)固定ねじ(付属)4 本を使い、接地面にジャンクションボックスのボトムカバーを固定する。
- 4)ジャンクションボックスのトップカバーを、Lレンチ(付属)を使用し取り付け。カバー内側の矢印をあわせること。
- 5)Lレンチ(付属)を使い、カメラのドームカバーを外す。
- 6)固定ねじ(付属)2 本を使い、ジャンクションボックスにカメラを固定する。
- 7)画角を決める。
- 8)Lレンチ(付属)を使い、ドームカバーを取り付ける。
- 9)水を抜くため下部は除いてジャンクションボックスの周りにコーキングを行う。



### 画角調整

カメラの角度を調整後、ズームねじとフォーカスねじで画角を調整する。



### 注意事項

1. 壁または天井の補強工事が必要かどうか確認すること。
2. ガイドパターン(付属)を使用してネジ間の距離を確認すること。
3. 湿気を防ぐために、ドームカバーの中に乾燥剤(付属)を取り付けること。
4. ドームカバーの内側と外側の保護フィルムは外すこと。
5. アクセサリの取付金具を使用する場合は、取付金具の施工基準書を参照すること。